

2016年度第1四半期決算について

<損益実績(連結)>

(単位:億円)

	2016 1/4	2015 1/4	2015.1/四 →2016.1/四
売上高	10,511	12,649	- 2,138
経常利益 [ROS]	▲120 [-1.1%]	844 [6.7%]	※1 - 964 [-7.8%]
特別損益	▲62	192	※2 - 254
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲146	727	- 873
<1株当たり当期純利益> *2 [ROE]	<- 16.4> [-2.2%]	*1 <79.7> [9.8%]	<- 96.1> [-12.0%]
有利子負債	20,376	19,403	*3 + 973
D/Eレシオ	0.78	0.66	+ 0.12

*1 2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

*2 年率換算

*3 2015年7月に実施したハイブリッド証券から劣後ローンへのリファイナンス影響：有利子負債3,000億円増、非支配株主持分3,000億円減

<諸元>

(1)当社

	2016 1/4	2015 1/4	2015.1/四 →2016.1/四
連結粗鋼生産量(万t)	1,116	1,089	+ 28
単独粗鋼生産量(万t) *1	1,058	1,031	+ 27
鋼材出荷量(万t) *1	960	985	- 25
鋼材価格(千円/t) *1	68.1	82.8	- 14.7
為替(円/\$)	111	121	10円高

*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2)全国

	2016 1/4	2015 1/4	2015.1/四 →2016.1/四
粗鋼生産量(万t)	2,620	2,586	+ 34
鋼材消費(万t) *2 (うち製造業)	1,473 (937)	1,532 (968)	- 59 (- 31)
<製造業比率>	<63.6%>	<63.2%>	<+ 0.4%>
普通鋼鋼材消費(万t)	1,164	1,220	- 56
建設 製造業	509 655	536 684	- 27 - 29
特殊鋼鋼材消費(万t)	309	312	- 3
国内メーカー問屋在庫(万t)	*3 570	573	- 3
薄板三品在庫(万t)	*3 418	420	- 2

*2 当社推定値 *3 5月末確報

※1 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)

2015.1/四
→2016.1/四

連結経常利益 差異	- 960
1. 製鉄事業	- 910
① 生産出荷	- 80
② 販売価格・構成	- 1,150
③ 原料価格(キャリーオーバー含む)	+ 790
④ コスト改善	+ 170
⑤ 在庫評価差	- 290
⑥ グループ会社	+ 20
⑦ 為替影響(ストック、フロー)	- 330
⑧ その他	- 40
2. 鉄以外セグメント	- 40
3. 調整額	- 10

<セグメント情報>

(単位:億円)

	2016 1/4	2015 1/4	2015.1/四 →2016.1/四
売上高	10,511	12,649	- 2,138
製鉄	9,270	11,096	- 1,826
エンシニアリンク	554	706	- 152
化学	392	522	- 130
新素材	86	88	- 2
システムソリューション	500	511	- 11
調整額	▲ 292	▲ 275	- 17
経常利益	▲ 120	844	- 964
製鉄	▲ 161	747	- 908
エンシニアリンク	12	17	- 5
化学	▲ 12	22	- 34
新素材	4	8	- 4
システムソリューション	49	48	+ 1
調整額	▲ 13	▲ 0	- 13

※2 特別損益内訳

(単位:億円)

	2016 1/4	2015 1/4	2015.1/四 →2016.1/四
特別損益 合計	▲ 62	192	- 254
関係会社株式売却益	-	334	- 334
設備休止関連損失	-	▲ 141	+ 141
事業再編損	▲ 62	-	- 62

(次ページにつづく)

2016年度上期及び年度見通しについて

<損益見通し(連結)>

(単位:億円)

	1/四	2/四見	2016 上見	2015 上	2015上 →2016上見	2016FY見
売上高	10,511	11,489	22,000	25,075	- 3,075	
経常利益 [R O S]	▲ 120 [-1.1%]	270 [2.4%]	150 [0.7%]	1,298 [5.2%]	※ - 1,148 [-4.5%]	1,300
親会社株主に帰属 する当期純利益 <1株当たり当期純利益>	▲ 146 <- 16.4>	146 < 16.4>	0 < 0.0>	1,201 * < 131.2>	- 1,201 <- 131.2>	

* 2015年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、
前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(参考)セグメント情報

売上高	10,511	11,489	22,000	25,075	- 3,075	
製鉄	9,270	10,330	19,600	22,025	- 2,425	
エンジニアリング*	554	646	1,200	1,402	- 202	
化学	392	408	800	1,013	- 213	
新素材	86	74	160	178	- 18	
システムソリューション	500	530	1,030	1,062	- 32	
調整額	▲ 292	▲ 498	▲ 790	▲ 606	- 184	
経常利益	▲ 120	270	150	1,298	- 1,148	1,300
製鉄	▲ 161	211	50	1,107	- 1,057	
エンジニアリング*	12	▲ 22	▲ 10	21	- 31	
化学	▲ 12	22	10	31	- 21	
新素材	4	1	5	16	- 11	
システムソリューション	49	41	90	101	- 11	
調整額	▲ 13	18	5	20	- 15	

※ 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)
2015上
→2016上見

連結経常利益 差異	- 1,150
1. 製鉄事業	- 1,060
① 生産出荷	+ 200
② 販売価格・構成	- 1,930
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	+ 1,110
④ コスト改善	+ 380
⑤ 在庫評価差	- 210
⑥ グループ会社	+ 10
⑦ 為替影響(ストック、フロー)	- 510
⑧ その他(一過性影響等)	- 110
2. 鉄以外セグメント	- 70
3. 調整額	- 20

<諸元>

(1) 当社

	1/四	2/四見	2016 上見	2015 上	2015上 →2016上見
連結粗鋼生産量(万t)	1,116	1,180程度	2,300程度	2,227	+ 73程度
単独粗鋼生産量(万t) *1	1,058	1,120程度	2,180程度	2,107	+ 73程度
鋼材出荷量(万t) *1	960	1,070程度	2,030程度	1,964	+ 66程度
鋼材価格(千円/t) *1	68.1	66程度	67程度	81.3	- 14程度
為替(円/\$)	111	100程度	105程度	122	17程度円高

*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	2,620	2,636程度	5,256程度	5,205	+ 51程度
粗鋼生産量(万t) *2	2,620	2,636程度	5,256程度	5,205	+ 51程度
鋼材消費(万t) *3	1,473	1,532	3,005	3,089	- 84
(うち製造業)	(937)	(970)	(1,907)	(1,943)	(- 36)
<製造業比率>	< 63.6%>	< 63.3%>	< 63.5%>	< 62.9%>	<+ 0.6%>
普通鋼鋼材消費(万t)	1,164	1,211	2,375	2,459	- 85
建設	509	533	1,042	1,089	- 47
製造業	655	678	1,332	1,370	- 38
特殊鋼鋼材消費(万t)	309	321	631	629	+ 1

*2 経済産業省見通し *3 当社推定値

【剰余金の配当(第2四半期末)について】

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、誠に遺憾ではありますが、実施を見送る予定とさせていただきます。

(注)上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

《参考》既公表案件について

新規設立、事業統合及び再編等に関する公表案件

・既実行案件

時期	案件
2015.4月	(新日鐵住金グループ会社の鉄道関連事業の統合再編) 鉄道エンジニアリング事業の統合再編及び製鋼所製造プロセス会社としての統合再編
2015.6月	(ユニプレス(株)の持分法適用関連会社化) ユニプレス(株)との連携強化による自動車用プレス部品のグローバル競争力強化
2015.8月	(日鉄住金テックスエンジ(株)の完全子会社化) 新日鐵住金(株)による日鉄住金テックスエンジ(株)の株式交換による完全子会社化
2015.9月	(鈴木金属工業(株)の完全子会社化) 新会社名: 日鉄住金SGワイヤ(株) 新日鐵住金(株)による鈴木金属工業(株)の株式交換による完全子会社化
2016.2月	(米国における自動車向け冷間圧造用鋼線の製造・販売会社の設立) NIPPON STEEL & SUMIKIN COLD HEADING WIRE INDIANA INC. の設立
2016.3月	(大阪製鐵(株)による公開買付け) 大阪製鐵(株)による東京鋼鐵(株)株式の取得及び子会社化
2016.6月	(フランスVallourec社の強制転換社債の普通株式への転換) Vallourec社発行のライツイシューと強制転換社債の引受(2016.5月)及び 強制転換社債の普通株式への転換(2016.6月)
2016.7月	(ウジミナス社の資本増強) Usinas Siderúrgicas de Minas Gerais S.A. - USIMINAS (ウジミナス社)の 普通株新株引受権に係る株主割当の引受
2016.7月	(日鉄住金精密加工(株)の発足) 日鉄住金ファインテック(株)と日本チューブラープロダクツ(株)の合併

・その他既公表案件等

時期	案件
①2016.4月～ ②2016年中目途 (2016.2月公表)	(フランスVallourec社との戦略的提携の拡大について) ①Vallourec社発行のライツイシューと強制転換社債の引受 (2017年度より持分法適用関連会社化の予定) ②Vallourec & Sumitomo Tubos do Brasil Ltda. と Vallourec Tubos do Brasil S.A. の経営統合
2016.9月目途 (2016.2月公表)	(タイにおける薄板事業会社の統合について) The Siam United Steel (1995) Co., Ltd. と Nippon Steel & Sumikin Galvanizing (Thailand) Co., Ltd. の経営統合
2017.3月目途 (2016.5月公表)	(日新製鋼(株)の子会社化等に関する契約締結及び公開買付け実施について) 新日鐵住金(株)による日新製鋼(株)の子会社化及び日新製鋼(株)への鋼片の継続的供給

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 大西 史哲

TEL (03)6867-2130

<2017年3月期 第1四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2015年度	2,586	2,620	5,205	2,633	2,584	5,217	10,423
2016年度	2,620	(※)2,636程度	5,256程度				

(※)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫 万トン	(在庫率) %	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
2014. 6 末	583	(142.9)	420	22.1
2014. 7 末	559	(130.3)	410	21.5
2014. 8 末	593	(162.7)	432	21.1
2014. 9 末	591	(142.3)	431	21.3
2014.10 末	587	(138.3)	425	20.8
2014.11 末	595	(150.1)	425	20.6
2014.12 末	594	(157.4)	418	20.7
2015. 1 末	598	(153.0)	432	21.1
2015. 2 末	591	(156.4)	427	21.8
2015. 3 末	584	(137.4)	431	21.8
2015. 4 末	573	(156.0)	423	20.6
2015. 5 末	587	(161.8)	431	20.7
2015. 6 末	573	(147.3)	420	20.1
2015. 7 末	563	(144.3)	407	19.7
2015. 8 末	586	(168.9)	425	19.8
2015. 9 末	579	(150.4)	421	19.8
2015.10 末	565	(140.2)	413	19.5
2015.11 末	568	(152.7)	408	18.9
2015.12 末	572	(161.1)	409	18.5
2016. 1 末	587	(163.1)	427	18.5
2016. 2 末	572	(156.5)	417	19.2
2016. 3 末	550	(135.5)	411	20.3
2016. 4 末	561	(164.2)	408	19.6
2016. 5 末	570	(159.0)	418	19.8

[当社]

3. 出銑量 (当社+北海製鉄+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2015年度	1,045	1,089	2,135	1,065	1,052	2,117	4,251
2016年度	1,049	1,120程度	2,170程度				

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社+国内連結子会社

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2015年度	1,089	1,138	2,227	1,114	1,112	2,226	4,453
2016年度	1,116	1,180程度	2,300程度				

【参考:単独ベース】 当社+日鉄住金鋼鉄和歌山

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2015年度	1,031	1,076	2,107	1,056	1,055	2,111	4,217
2016年度	1,058	1,120程度	2,180程度				

5. 鋼材出荷量 (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2015年度	985	979	1,964	999	999	1,998	3,962
2016年度	960	1,070程度	2,030程度				

6. 鋼材平均価格 (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2015年度	82.8	79.8	81.3	75.5	70.6	73.1	77.1
2016年度	68.1	66程度	67程度				

7. 鋼材輸出比率 (金額ベース) (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2015年度	48	46	47	43	43	43	45
2016年度	43	43程度	43程度				

8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
	2015年度	121	122	122	121	118	120
2016年度	111	100程度	105程度				

9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2015年度	3,046	3,082
2016年度	3,700程度	3,100程度

以 上